

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 4 月 1 日(2022.4.1)

【公開番号】特開 2020-162677(P2020-162677A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-63970(P2019-63970)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 24 日(2022.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

複数種類の表示演出を実行可能であって、前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な表示手段と、

を備えた遊技機であって、

前記表示手段は、所定のリーチ図柄配列を複数種類表示可能であり、所定変動においてリーチにする場合、複数種類の前リーチ図柄配列を表示した後に、後リーチ図柄配列を表示し、

前記複数種類の前リーチ図柄配列のうち、少なくとも一つは所定期間中に表示と消去を繰り返しおこない得る、

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例 1]

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

複数種類の表示演出を実行可能であって、前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な表示手段と、

を備えた遊技機であって、

前記表示手段は、所定のリーチ図柄配列を複数種類表示可能であり、所定変動においてリーチにする場合、複数種類の前リーチ図柄配列を表示した後に、後リーチ図柄配列を表示し、

前記複数種類の前リーチ図柄配列のうち、少なくとも一つは所定期間中に表示と消去を繰り返しおこない得る、

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

50

【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 0 9	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 4】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 0	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 5】	10
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 1	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 6】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 2	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 7】	20
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 3	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 8】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 4	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 9】	30
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 5	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 0】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 6	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	40